

第5回まちづくりスタッフ会議 会議録

- 1 会議名 第5回まちづくりスタッフ会議
- 2 開催日時 平成27年7月25日(土) 午前10時00分から11時50分まで
- 3 開催場所 一関市役所会議室棟2階第3会議室
- 4 出席者
 - (1) まちづくりスタッフ会議委員(市民委員、職員委員) 44人
 - (2) 総合計画審議会委員 9人
 - (3) いちのせき市民活動センター 5人
 - (4) 市職員 5人
- 5 内容
 - (1) 各部会で選定した重点施策について報告【資料No1~3】
【部会長感想(資料に記載のない部分)】
 - ① 第1部会長
時間の限られた中での話だったので、まだまだ話し足りない部分もあったかと思う。資料にはないが、建設とか福祉とかソーシャルビジネスなどの話はでなかった。個人的にはそのような話がでてきてもよかったかなと思う。しかし活発な意見・話がでたので、少しでも市民の目に見える形で施策として反映されればありがたいと思う。
 - ② 第2部会長
(重要施策の選定を行ってない、資料に記載がない件について) 一回の会議のみではなく、二回の会議でこのような判断をした。
(2-6地域コミュニティに関して) 資料にないが、選挙権が18歳から与えられるようになるので、若い方が地域のコミュニティに参画していくような施策も検討するべきだという意見がでた。
色々な意見がでたが、文字にしてしまうとどうしてもこじんまりしてしまうなど。全体的にもう少しメリハリを付けた計画が必要ではないかと思う。しっかりとしたゴールや目標を設定し、その検証、PDCAをしっかりとまわしていくようなスキームが必要だという意見がでた。
 - ③ 第3部会長

(3-2 教育について) 少子化により部活動内容が限られており、不本意な活動を選択している場合もある。部活動とスポーツ少年団等団体の活動との両立が、子どもや家庭にとって負担となっているのではないか。スポーツ少年団等の活動に専念させることも容認すべきという意見がでた。

④ 第4部会長

(4-5 住環境について) 良好な景観形成の推進を図るうえで、古民家の活用等にも取り組みたい。ただ古民家の状況を我々では周知できないので、市のほうで情報発信をしてほしい。

(4-6 上水道について) 井戸水の水質検査等をお願いしたい。

わずか6時間でこのような難しい議題で議論するには短すぎるのではないかと。短い時間のなかで慎重審議したが、これからももう一度勉強なおして、自分たちの意見がどのように活用されているのか監視しながらみていきたい。

⑤ 第5部会副部会長(部会長欠席)

(5-8 防犯・交通について) 防犯は情報共有、声掛け事案。交通は除雪や除草を徹底。

5-1で患者の移動手段に触れたが、バス停まで行くことすら困難な高齢者が増えてくるので、より多様な方法を模索すべき。

【部会ごとの発表に関する質疑・意見等】

① 委員意見

第2部会が重点施策を選べなかったのは、適当なものがなかったからではなく、全て大事で優先順位を付けられないという判断である。他の部会でも選びきれず資料に複数掲載しているところがあるのだから、第2部会の分も掲載すべきではないか。

・ 事務局

承知した。

【スタッフ会議全般に関する質疑・意見等】

② 委員意見

中身の濃さ、重さに対して審議の時間が少なすぎた。もう少し議論の場を持ちたかった。

③ 委員意見

市民の参画の表現について。例えば【資料No.3】のp5のように「～しましょう」が多いが、市が「しましょう」ではなく市民が「します」といった表現があるべき姿では。

④ 委員意見

市民の参画について。【資料No.3】の市民の参画の項目に書かれている内容を市民が知らないこともある。市民の役割をしっかりと周知すべきである。

⑤ 委員意見

市が何をしてきたかという具体的なデータがないままで会議が進められた。五年後の後期計画策定の際は参加者が理解しやすいよう、データ・記録を判断材料として提供すべきである。

・ 事務局

次回に向けて検討する。

⑥ 委員意見

市民の参画について。「～しましょう」に対して、「したら〇〇」という評価・表彰（なんらかのポイントを付与する等）があればよいのではないか。

⑦ 委員意見

「要望します」、「検討します」で終わらせないで、その後の話をちゃんと会議に戻してほしい。高齢社会への対応をもう少ししっかりしてほしい。

⑧ 委員意見

せっかく初めてこのような機会が実現したのだから、本会議での議論が実際の計画にどう反映され、どうなったのかを報告してほしい。5年後の会議のためにもそのような公開・公表が必要である。

⑨ 審議会委員意見

10年間という長いスパンでの計画となると、その間に高齢者も空き家も増え続ける。緊急性があるので早急に施策を進めてほしい。

⑩ 委員意見

総合計画審議会を開催した新聞記事を見た。新聞の本文にあった市事務局の説明では「まち・ひと・しごと」とあったが、新聞の見出しは「ひと・

まち・しごと」となっていた。一番重要なのは「ひと」だと思う。

⑪ 委員意見

太陽光、小規模水力発電の検討をお願いしたい。

⑫ 委員意見

縦割りの弊害が起きないように。産業のなかでも農商工連携が必要なのと同様に、部会毎に検討内容が重なる部分もある。お互い連携を深めていくのであれば、それぞれのテーマをすり合わせていくような施策の転換も必要になってくるだろうと思う。

⑬ 委員意見

以前、健康づくりに関して、最大の課題である脳卒中について、県南地域がワーストワンになった理由を市担当者に確認したところ、「他所が努力したからである」という説明をされたが如何なものか。課題があるのなら、まず市民に投げてほしい。そこで市民も悩み考える。そういうところから初めてアイデアが出てきて、行政と地域の動き出しが出発するのでは。

今回の色々な議論の中に財政の話が全く入っていないが、不安である。水道等公共料金などが市民の負担が増えるのではないか。市民と市が手を握り合えるようなものをつくりだしてほしい。

○ 小野寺いちのせき市民活動センター長意見

お疲れ様でした。皆様からたくさん意見がでたように確かに議論の時間は足りなかったし、一回で議論しなくてはいけない量も多かったと思う。

この会議を設計する際にも、一つのテーマにずっと縛り付けるのではなく、皆さんが順番に色んなテーブルにいて色んなテーマについて話をするような形をとれないかと悩んだが、時間の関係上このような形を取らざるを得なかった。前回の基本構想の策定するワークショップに参加していただいた方には少しストーリーはつかめていたかと思うが、今回初めて参加した方に関しては、いきなり基本計画ということで発散も足りずに「夢のある話をしたかったのに～」等ご意見もあったかと思う。そもそものスタートの段階がズレたところもあったが、今皆さんからもあったように市民と行政が一緒になって話し合いをして進めていくことが大事だと思う。

今回初めてこのような取り組みをしたということが大きな一歩になったと思う。市民の方々一人ひとりが経営感覚をもっており、その経営者の感覚で、要望ではなく、意見・提言・提案という形で話をしていただいた。他所の市

町村では要望陳情型の意見が出ることも多々あるが、一関の皆さんの意見は本当に貴重な意見だと思う。皆さん市民力が高いと思うので、これからも市民と行政が話し合う機会に、たくさん建設的な意見を出して、良い一関をつくっていくために、議論を重ねてほしい。

○ 畠中総合計画審議会会長意見

皆さんには5回の会議に参加していただき、ありがたく思っている。皆さんの意見を聞いていてつくづく思ったが、最初から一番すばらしいものをつくるのはできないというのが率直な感想である。皆さん（市民活動センター・市の職員含め）と共に話し合い、たった5回実質討議6時間、足りなかったなという素直な感想のもと、このような議論をできたことが市にとって、市民にとって進歩したことであると前向きに捉えたい。というのも、他所と比べることではないが、これほど市民と行政各担当者が腹を割って話せる雰囲気をつくれている所はそうそうないと自負している。ご不満はたくさんあると思うが、皆様方がこの平成27年度の市民の空気を市の職員に、あるいは他の市民に伝えることによって、この総合計画の基本計画のなかに、平成27年度の一関の、一関をよくしていこうという気持ちがどんどん入っていき、良い物が出来ていくという過程になると思う。本来、実施計画という細かい計画についてのご意見がたくさんあったが、それをここで議論する時間はない、そのなかで市民の考え方や気持ちがわかったということが、今回参加した市役所の一番の働き頭である中堅の方々にはいい機会だったと思っている。

先ほど「なんでもそうだけど文字にするとこじんまりしてしまう」といった良い言葉があったが、すごくよくわかる。通り一遍ではないが、できるだけここから文句のでない形にしたいという自覚をもっていたなと思った。またしっかりと目標をもち、その検証をするということを忘れないようにしたい。色々な分野で縦横斜めと、横断的な施策、関連性について検証しながら総合計画を立てていきたい。最後に、皆様からのご意見に対して「ご意見として参考にさせていただきます」という発言を私も含めて、よくするが、これはいかがなものか。「今はできない」や「検討してわかる範囲内で答える」のように「ご意見として参考させていただく」のなかでもしっかり濃淡をつけるべきであると感想を抱いた。まだまだ話足りない方も多くいると思うが、感謝を申し上げる。

6 市長公室長挨拶

市長が公務の都合により欠席のため、代わりに御礼の言葉を述べさせていただきます。

このまちづくりスタッフ会議は、基本計画の策定について市民の皆さんと職員とで検討していただくために設置したものです。

次期総合計画前期基本計画を策定するにあたり、今回は、市民委員の皆さんのほか、総合計画審議会委員の皆さん、いちのせき市民活動センターの皆さんのご協力もいただきながら、検討をしていただきました。

まちづくりスタッフ会議でいただきましたご意見については、担当課に伝え、前期基本計画に反映したいと考えているほか、事業等への具体的なご意見については、事業実施の際の参考とさせていただきます。

また、前期基本計画の分野別計画について、今後は、総合計画審議会において、重点プロジェクトとともに計画の全体調整をしていただくこととしている。

4月から今回までの全5回、また、まちづくり勉強会について、お忙しいところ、ご出席いただき、感謝申し上げます。

このスタッフ会議にご参加いただいた皆さんには、地域のまちづくりのリーダー役としてご活躍いただきたくお願いする。

今後についても、あらゆる場面で市民の皆さんからご意見をいただきながらまちづくりを進めていくこととしているので、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

また、このスタッフ会議は、15年前に市民の皆さんと計画を策定するにあたり、設置したものです。その時の内容は施策提案だった。今回いただいた意見を参考に今後の設置について意見をいただく方法等を検討していく。

7 閉 会